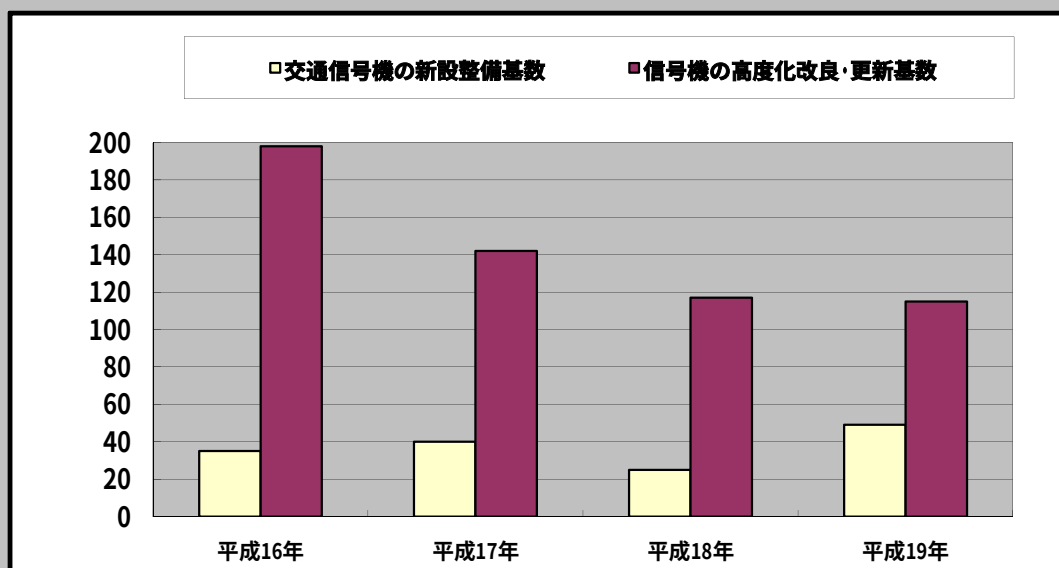


## 業務名

## 交通環境の整備

## ○業務に関する統計

| 項 目                | 統 計 の 推 移 |       |       |       |    |
|--------------------|-----------|-------|-------|-------|----|
| 交通信号機の新設整備基数       | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|                    | 35        | 40    | 25    | 49    | 基  |
| 信号機の高度化改良・更新基数     | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|                    | 198       | 142   | 117   | 115   | 基  |
| 交通情報収集提供装置の整備基数    | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|                    | 60        | 40    | 20    | —     | 基  |
| 大型道路標識・路側道路標識の整備本数 | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|                    | 3,781     | 3,154 | 3,146 | 1,378 | 本  |



## ○業務の主なコスト

| №   | 事 業 名                   | 平成19年度事業費 (千円) | 平成20年度事業費 (千円) |
|-----|-------------------------|----------------|----------------|
| 1   | 国補交通管制センター設置費           | 192,436        | 161,564        |
| 2   | 国補交通信号機設置及び改良費          | 131,364        | 181,565        |
| 3   | 国補交通安全施設調査費             | 6,970          | 10,457         |
| 4   | 県単交通信号機設置及び改良費          | 61,531         | 26,825         |
| 5   | 道路標識設置費・標示塗装費           | 135,206        | 70,014         |
| 6   | 主要自動車道路開通に伴う交通安全対策緊急事業費 | 34,619         | —              |
| 7   | 交通安全施設地中化事業             | 42,411         | 38,614         |
| 8   | くらしの道交通安全施設整備           | 166,297        | 119,760        |
| 9   | パーキングメーター等維持管理費         | 66,760         | 67,282         |
| 10  | 交通安全施設維持管理費等            | 584,991        | 600,415        |
| 合 計 |                         | 1,422,585      | 1,276,496      |

## ○平成19年の取組み

●交通事故を防止し、安全で快適に通行できる交通環境を確保するため、信号機やLED灯器、道路標識等の交通安全施設の整備を推進した。

・県民しあわせプラン第2次戦略計画の重点事業として「くらしの道路交通安全施設整備事業」に取り組み、交通環境の変化等に対応し、安全で快適な交通環境を確保するため、必要性・緊急性の高い交差点において新設信号機46基を整備（計画外でもさらに3基を整備）し、安全で円滑な交通環境を確保した。

・既設信号機の機能の向上を図り、交通実態に対応した運用を行うため、プログラム多段系統化のほか、多現示改良、右折感应化、高齢者感应化、視覚障害者用付加装置などの信号機高度化改良事業（合計115基）を実施した。

・道路標識、道路標示の新設とともに、耐用年数、老朽度合いを考慮し、建替、塗替を行った。

・熊野尾鷲道路開通に伴い、荒天時の安全と円滑を図るため、可変式速度規制標識の整備を実施した。

・交通弱者を保護するための交通規制の実施、道路管理者等関係機関と連携した面的・総合的な事故防止対策など、安全で安心な交通環境の確保に努めた。

●安全・快適で、環境にやさしい交通社会の実現をめざし、新交通管理システム（UTMS）の整備を図るなどIT化高度化を推進した。

・交通管制センター中央装置整備、伊勢サブセンターの高度化更新、管制信号機の高度化更新20基を整備した。

・朝夕の渋滞が顕著な名張市内の国道165号等43箇所の信号交差点を管制エリアに組み入れた。

## ○課題と平成20年の取組み

●交通管制センターのエリア拡大により、交通の安全と円滑を図り、交通渋滞の解消に努める。

・エリア拡大（北勢地区10交差点・地域制御機10基）、地域制御機更新35基、情報収集装置7式を整備し、渋滞解消に努める。

●交通信号機の新設・高度化改良、道路標識等の整備を計画的に推進する。

・「くらしの道路交通安全施設整備事業」において新設信号機37基、信号機の高度化改良81基、道路標識500本等を整備する。このうち、社会資本整備重点計画の更新に伴い、新たな施策として「交通の円滑化に資する地区」で行う「円滑化事業」（信号機新設10基、信号機の高度化改良32基、道路標識315本、横断歩道150本等）を道路管理者と連携して取り組む。

●老朽化信号柱の整備推進

・老朽化している信号柱のうち、早急に整備する必要がある信号柱30本の更新を行う。